

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回メールニュースのみのご案内ですので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回	覧				
---	---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 184 (通算 495 回)

2011 年 4 月 27 日 (水)

学修の質保証に向けた検証と進化——

## 学士課程教育の改革シナリオと教学運営

～北海道大学の 15 年余の取組みを踏まえて～

- ※ 教育・履修システムの進化～AP・DPの明示、教育課程の体系化、単位制度の実質化  
教育方法の改善／成績評価の適正化～評価基準ガイドライン、GPA・CAP制と運用
- ※ 学修支援の進化～履修相談等／FD活動の進化～全学FD、TA研修会、シラバスコンクール等
- ※ データに基づく教育改善(IRによる成果)～教員の教育力と学生の学習力へのインパクト

● 講師 ●

安藤 厚 氏 / (国) 北海道大学 名誉教授  
前 高等教育機能開発総合センター・高等教育開発研究部長

2011 年 4 月 27 日 (水) 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会  
高等教育情報センター

日 時 : 2011 年 4 月 27 日 (水) 13:00～16:45  
会 場 : 剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町)  
千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362  
アクセス : 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」  
麹町口より徒歩 10 分  
※会場の地図及び受講証を送付しますので  
必ずご確認ください。

参加費 : A. ご一名 (資料代込)  
36,000 円 (消費税込)  
B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)  
37,000 円 (送料、消費税込)  
※参加費の払い戻しは致しません。  
申込者の都合が悪いときには、代理の方  
がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ  
FAX または E-mail にてご送付ください。  
支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
郵便振替 00110-8-81660  
口座名 <(株) 地域科学研究会 >  
※ご請求なき場合は振込受領書を領収書  
に代えさせていただきます。  
申 込 先 : 地域科学研究会・高等教育情報センター  
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
Tel: 03(3234)1231 / Fax : 03(3234)4993  
E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 184

2011 年 4 月 日

学士課程教育の改革シナリオと教学運営

当日参加  メディア参加  
( に  印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_ 連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [ 請求書  見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 〽 14:30	<p><b>I. 北海道大学の教育改革の歩み</b>                      ～ホップ・ステップ・ジャンプの概況～</p> <p><b>II. 教育・履修システムの進化</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学者受入れ方針（AP）の明示</li> <li>2. 教育課程（カリキュラム）の体系化                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学部一貫の教育課程</li> <li>(2) 全学共通の全学教育科目</li> </ol> </li> <li>3. 単位制度の実質化                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) シラバスの充実とコンクール</li> <li>(2) 授業外の自主学習の強化</li> </ol> </li> <li>4. 成績評価の適正化                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 成績評価基準のガイドライン</li> <li>(2) GPA制度とその運用</li> <li>(3) 自由設計科目制度とその運用</li> <li>(4) CAP制度とその運用</li> </ol> </li> <li>5. 教育方法の改善                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 能動的・体験型学習</li> <li>(2) 双方向型授業</li> </ol> </li> <li>6. 学位授与方針（DP）の明示</li> </ol>
14:40 〽 16:10	<p><b>III. 学修支援の進化</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 履修相談会MANA V I</li> <li>2. 修学指導</li> <li>3. 学習サポート</li> <li>4. ピアサポート</li> </ol> <p><b>IV. FD活動の進化</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学FD（教育ワークショップ）</li> <li>2. 全学教育TA研修会</li> <li>3. クリッカー・LMS</li> <li>4. シラバスコンクール</li> </ol> <p><b>V. データに基づく教育改善（IRによる成果）</b>                      ～教員の教育力と学生の学習力へのインパクト～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 履修登録単位数上限設定（CAP制）</li> <li>2. 全学教育のクラス数・履修者数</li> <li>3. 附属図書館の利用数</li> <li>4. 1年次のGPA平均</li> <li>5. 成績分布</li> <li>6. 自習時間</li> <li>7. 授業評価アンケート総合点</li> <li>8. 学生調査</li> </ol>
～コーヒーブレイク～	
16:20 〽 16:45	<p><b>VI. 質疑応答とディスカッション</b></p>